

「次代に向けて田水郷をつなぐ みやぎの農業・農村」

「田」…先人が築き上げてきた優良な生産基盤 「水」…水循環を支え農業生産に欠かせない農業用水 「郷」…美しい農村環境やそこで受け継がれてきた伝統・文化

農業・農村を取り巻く情勢・課題

『みやぎ食と農の県民条例(R7年3月改正)』

で掲げる3つの理念

- 将来にわたる安全で安心な食料の安定供給
 - 生産性が高く環境と調和した多様な農業が持続的に営まれること
 - 総合的な農村の振興
- 第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画(R3～R12)における主要目標(R7中間見直し) **R7修正**
- 農業産出額: 1,939億円(H30) ⇒ **2,300億円(R12)**
- 農地面積: 126,300ha(R1) ⇒ **122,175ha(R12)**

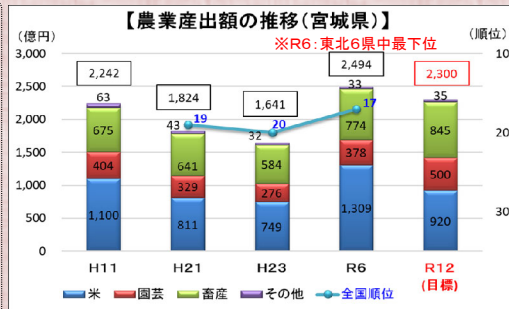
○全国トップクラスの大区画水田整備率

東北6県における水田整備率(R5)

	水田整備率		うち大区画整備率	
	30a以上	全国順位	50a以上	全国順位
青森県	68.5%	16	7.4%	19
岩手県	54.5%	28	11.7%	8
宮城県	72.0%	11	33.4%	1
秋田県	70.5%	14	26.8%	3
山形県	79.9%	7	4.8%	29
福島県	75.6%	8	7.5%	18

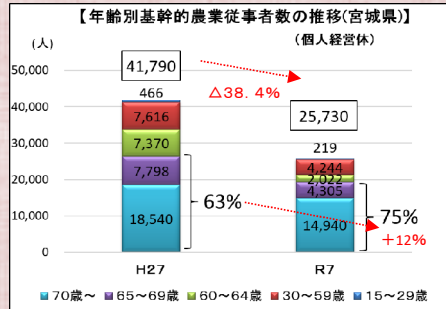
出典: 農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」

○価格変動による農業産出額への影響



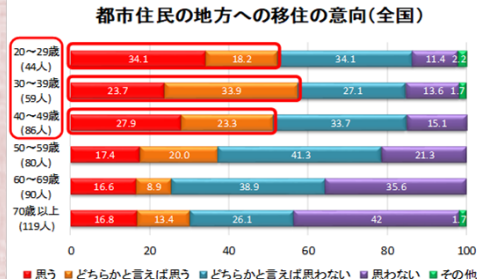
出典: 農林水産省「生産農業所得統計」

○農業者の減少・高齢化



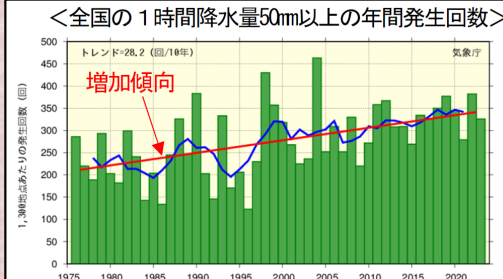
出典: 農林水産省「農業センサス」

○田園回帰に対する意識の高まり



資料: 農林水産省 平成29年度 第3回過疎問題懇談会資料

○頻発化・激甚化する自然災害



資料: 気象庁HP「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」

重点推進プロジェクト(R8～R12)

収益力向上に向けた基盤整備プロジェクト

- ◆ 農地の大区画化のほか、地域の特性を活かした収益性の高い作物の導入に向けた水田の汎用化とともに**スマート農業技術の導入を図るための基盤整備を推進**します。

- (具体的取組内容)
- ・地域振興作物等を中心とした作付計画策定を推進
 - ・栽培作物を考慮した地下かんがいシステム等の導入
 - ・自動走行機の効率的な稼働や水管理・草刈りの省力化等を図るための基盤整備を推進

推進指標	R元年(基準年)	R6年	(R6年目標値) R6進捗率	(見直し前) R12年
大区画化水田整備面積 [ha]	35,397	38,826	(37,150) 99.1%	(39,300) 38,400
汎用化水田の面積 [ha]	78,787	80,317	(80,730) 99.5%	(83,100) 82,000
野菜等の高収益作物を導入する新規地区数 [地区]	4	28	(27) 103.7%	(60) 80
スマート農業技術を導入する農地整備新規地区数 [地区]	-	3	(7) 42.9%	(18) 18



重点に追加

地域と関わりを持つ関係人口の創出プロジェクト

- ◆ 農林漁業者や団体、さらに県内外の企業や個人とのネットワークを構築し、**都市と農山漁村地域の交流・農泊等の推進により、新たな関係人口を創出**します。

- (具体的取組内容)
- ・台湾からの教育旅行等のインバウンド需要を捉えた農泊地域周遊ビジネスの創出など、持続可能な地域づくりに繋がる活動を支援
 - ・地域資源を活用した自主的な取組や多様な人材との交流を支援

推進指標	R元年(基準年)	R6年	(R6年目標値) R6進捗率	(見直し前) R12年
農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数 [団体]	-	98	(53) 184.9%	(80) 120
都市と農村の交流活動に参加した人数 [人]	284	492	(314) 156.7%	(400) 500



農村の暮らしを守る防災・減災対策プロジェクト

- ◆ 農村地域の安全・安心な暮らしを守るため、**防災重点農業用ため池に係る防災対策や田んぼダム**の取組を推進するほか、**排水機場等、地域の農業水利施設の適切な補修・更新、保全管理に取り組み**ます。

- (具体的取組内容)
- ・防災対策の優先度が高い、ため池から対策工事を実施
 - ・田んぼダム適地の可視化や堰板の配布等による普及拡大
 - ・基幹的な排水機場等の計画的かつ効率的な補修・更新及び保全管理の推進

推進指標	R元年(基準年)	R6年	(R6年目標値) R6進捗率	(見直し前) R12年
地震・豪雨対策に取り組む防災重点農業用ため池の数 [箇所]	-	14	(9) 155.6%	(35) 35
田んぼダムを導入した面積 [ha]	26	736	(270) 272.6%	(630) 1,300
整備改修に取り組む洪水防除排水機場数 [箇所]	-	5	(4) 125.0%	(22) 12
機能保全対策に取り組む基幹的な排水機場数 [箇所]	-	7	(8) 87.5%	(34) 22



令和8年4月
農山漁村なりわい課
農村振興課
農村整備課
農村防災対策室

令和8年度主要事業

(☆…R8新規事業)

※事業費はR8当初(事務費を含む) (単位:千円)

- ◆ 農業構造転換集中対策費などを最大限活用し、農地の大区画化による担い手への農地の集積・集約化を進めるとともに、収益性の高い作物の導入に向けた水田の汎用化や、スマート農業技術の導入に資する基盤整備を推進します。

令和8年度 農地整備実施地区数 52地区
(区画整理A=293ha、暗渠排水A=202ha)

令和8年度 調査計画地区数(農地整備) 8地区(うち新規2地区)

- ・農地耕作条件改善事業【**なり**】 17,511
- ・農村総合整備事業【**なり**】 46,550
- ・農業農村整備事業実施計画策定費【**村振**】 44,940
- ・県営ほ場整備事業調査【**村振**】 35,700
- ・農地整備事業【**村整**】 4,501,894
- ・水利施設整備事業【**村整**】 1,937,031

- ◆ 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農の継続等に対して支援を行います。

令和8年度 日本型直接支払取組予定面積 A=76,199ha

- ◆ 農山漁村地域が自ら課題を解決し協働する課題解決型・協働型地域コミュニティに変革する土台作り、大学生などの多様な人材による地域づくり、農村の暮らしや仕事を体験し地域との関わりを深める関係づくりを支援します。

- ◆ 土地改良区と地域の関係者が連携して取り組む、中長期的な保全管理方針「水土里ビジョン」の策定を支援します。

- ・多面的機能支払事業【**なり**】 2,209,755
- ・中山間地域等直接支払交付金事業【**なり**】 266,552
- ・鳥獣害防止対策事業【**なり**】 492,028
- ・県営農道整備事業【**なり**】 159,012
- ☆ みやぎの次世代農山漁村サポート事業【**なり**】 14,000
- ・農泊地域周遊ビジネスモデル構築事業【**なり**】 8,478
- ☆ 農山漁村体験おもてなし支援事業【**なり**】 10,500
- ・土地改良事業推進対策費【**村振**】 14,160

- ◆ 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、対策の優先度が高いため池から防災工事を進めるとともに農業水利施設の適切な補修・更新及び保全管理に取り組みます。

令和8年度 防災重点農業用ため池整備 5地区
令和8年度 用排水施設の機能保全対策 28地区
令和8年度 調査計画地区数(防災) 20地区(うち新規8地区)

- ◆ 洪水被害を緩和する「田んぼダム」について、モデル地区で効果を可視化するとともに、シンポジウムの開催やイベント等での周知により、県内全域で「田んぼダム」取組の拡大を図ります。

- ・農村整備事業【**なり**】 209,384
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業【**なり、農防**】 215,338
- ・農村地域防災減災事業調査計画費【**村振**】 123,952
- ・水利施設等保全高度化事業実施計画策定費【**村振**】 88,305
- ・田んぼダム普及拡大推進事業【**村振**】 5,500
- ・水利施設整備事業【**村整**】※再掲 1,937,031
- ・基幹水利施設管理事業【**村整**】 331,060
- ・用排水施設等整備事業【**農防**】 934,500
- ・農業用河川工作物等応急対策事業【**農防**】 716,100
- ・防災重点農業用ため池緊急整備事業【**農防**】 518,944

農業・農村の将来像

地域経済を支える農業



関係人口や移住希望者に選ばれる農村



第3期みやぎ農業農村整備基本計画(R3～R12)における施策の推進方向(R7年度中間見直し実施)

基本項目Ⅰ 人口減少下で持続的に発展する農業の振興

(儲ける農業)

施策1 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化

- ① スマート農業技術の推進に向けた基盤整備(修正)
- ② 時代のニーズに対応した農業技術の確立と現地普及

施策2 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

- ① 農業の成長産業化に向けた農業基盤整備
- ② 中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保
- ③ 担い手への農地集積・集約化の推進
- ④ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(農業用水の安定給)

施策3 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立

- ① 大区画ほ場を活用した露地園芸の推進(修正)
- ② 農地整備事業を契機とした施設園芸用地の創出

基本項目Ⅲ 自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化

施策7 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- ① 農村地域の防災・減災対策の推進(修正)
- ② 田んぼダム等農村地域の有する洪水調節機能の効果的な発揮
- ③ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(排水機能の維持・保全)
- ④ 農村地域の生活環境の維持

2. 新・宮城の将来ビジョンの実現に向けた取組（農業農村整備事業関係）

新・宮城の将来ビジョン

◆ 県では、令和2年度で終期を迎えた「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城県地方創生総合戦略」の後継計画として、令和3年度を始期とする「新・宮城の将来ビジョン」を策定しました。

計画期間が10か年である本ビジョンは、3～4年を期間とする実施計画を別途定め、具体的取組（推進事業）や数値目標を示した上で確実に実施していくとともに行政評価システムにより事業の有効性や効率性などを検証しながら推進していきます。

①被災地の復興完了に向けたきめ細やかなサポート

体系・基本方向・取組名	農業農村整備関係事業名
取組分野3 福島第一原発事故被害への対応	鳥獣害防止対策事業

②政策推進の基本方向

体系・基本方向・取組名	農業農村整備関係事業名
1. 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進	
(1) 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	
2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	むらまち交流拡大推進事業
3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	農地整備事業
(2) 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	
4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	農業経営高度化支援事業
4. 強靱で自然と調和した県土づくり	
(7) 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	
15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	小水力等農村地域資源利活用促進事業
16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築	令和のむらづくり推進事業 みやぎの地域資源保全活用支援事業 多面的機能支払事業 田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業 防災重点ため池管理対策強化支援事業 宮城県ため池サポートセンター事業
(8) 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	
17 大規模化・多様化する災害への対策の強化	水利施設整備事業 農地防災事業
18 生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実	中山間地域等直接支払交付金事業 県営農道整備事業（通作条件整備） 県営造成施設管理体制整備促進事業 土地改良施設機能診断事業